

おしどり ふれあいだより

第112号 (2020年3月号)

〒520-3244 湖南市サイドタウン3丁目15-18

TEL (0748) 74-0005 / FAX 74-0403

E-mail oshidori@chiiroba.jp

【総合事業】ふれあいの家おしどりニュース

先日、甲西文化ホールにて「ぼけますから、よろしくお願ひします」という映画を観ました。認知症の母親と彼女を支える父親の生活を、娘の視線で撮影されたドキュメンタリー映画でした。今まで何でも家事をこなしてきたのに、認知症の進行に伴いだんだん思い通りにできなくなって行く焦り・苛立ち・不安を露わにする母親・・・けんかしながらも妻を気に掛ける父親。そんな両親に寄り添いながら撮影を続ける娘さん。親子三人の絆に胸が熱くなりました。

映画の最後の方で、ホームヘルパーさんが来る前に母親が洗濯をしようとするシーンがありました。そのときの娘さんの「なにもしなくてもええんやから。もうすぐヘルパーさんが来てくれるんやから。」このような声掛けをされていたシーンが印象に残ると同時に心に引っ掛かりを覚えました。

生活面や身体面でできにくくなってきたことを、介護サービスを利用して補っていくことは介護保険制度の大きな目的の一つには違いありません。家族としては、難しいことやリスクの伴うことはヘルパーさんなど介護サービスに任せて、やれる範囲で安全にできることだけして暮らしてほしいという願いがあることと思います。ですから映画の娘さんの言葉はとてもうなずけるものです。

一方で、「まだまだやれるのに・・・」「すぐ年寄あつかいして・・・」といったご本人の想いが置き去りになってしまっているという現実もあります。料理一つにしても、メニューを考える、買い物をする、材料を切る、煮炊きするなど、ベテラン主婦にとっては何十年間も行われて来た作業です。

できることを続けることは生活の自信につながり、生活意欲が高まります。ふれあいの家では、そうしたみなさんの「できる」を大切に、応援・サポートして行きたいです。



2月は、みんなでメニューを考えて、豆乳鍋を作りました。切って、煮て、意見を出し合う。どれも脳の活性化につながります。



【総合事業】ふれあいの家おしどり4月からのお知らせ

☆火曜日・金曜日の週2
回の活動となります！

☆リハビリの専門
理学療法士と作業療法士が、
活動に加わります！

営業日・職員が増え、活動内容がさらに充実します！



要支援2の方は、週2回の利用が可能となります。担当のケアマネジャーさんにご相談ください。

お問い合わせは、ふれあいの家おしどり

☎(0748)74-0005

見学は随時受け付けています。

おしどり健康教室

耳鼻科の先生に来ていただきました。

2月の健康教室は、京都市内で耳鼻咽喉科を開業されている、大山孜郎先生にお越しいただき、補聴器についてのお話を伺いました。



補聴器が必要かな?と思ったら・・・

- ① まずは、「補聴器相談医」という専門の資格を持った医師がいる耳鼻咽喉科を受診し、難聴の診断を受ける。
- ② 耳鼻咽喉科に紹介してもらって、「認定補聴器専門店」と呼ばれる補聴器販売店で、補聴器を購入する。
- ③ 購入後は、定期的に耳鼻咽喉科を受診し、補聴器の聞こえ具合を診てもらおう。

補聴器は**管理医療機器**です。専門医を受診の上、専門店で購入するのが良いとのこと。そして、買った後も定期受診を忘れずに。耳の聞こえ方は人それぞれです。自分に合った補聴器をつけて生活の質を上げましょう！

おしどり 4コマ劇場 その83. トイレの後で



😊お互いさまですね。

新型コロナウイルス予防対策として、お知らせ

4月18日に予定していましたが「おしどりつつじ祭り」を今年中止致します。年に一度の大行事ですので職員一同大変残念な想いですが、ご理解・ご協力の程お願い致します。

お願い

来所されるボランティアの皆様、地域の皆様へ来所時の手指のアルコール消毒と検温をお願いしています。お互いの予防のため、重ねてご協力の程よろしくお願い致します。

介護のことや介護保険のことで悩んでいませんか？

介護のフロ・おしどり職員がご相談に応じます。日頃の疑問や悩みを一緒に考えてみませんか？どんなお話でも結構です！ふれあい楽舎に気軽にお越しください。

毎週木曜日 10時～11時
(*日時は変更になる場合もあります)

「おしどりふれあいだより」は、法人のホームページにも掲載しています。また、ふれあいの家の日々の活動もブログにも掲載しています。ぜひご覧ください

近江ちひろば会

検索